

目 次

はしがき

第1部 法的思考と裁判

第1章 「法的に考える」とはどういうことか？	2
I 無茶な要求？	2
II 法学者の考え方，法実務家の考え方	3
III 法的思考と法哲学	5
第2章 裁判と裁判官へのまなざし	8
I 裁判官のように考える？	8
II 社会のなかの裁判とその構造	10
III 仲裁者とその“権威”	11
IV 制度への信頼とその条件	13
V 判決の権威と法的思考	15
第3章 法律学における推論と解釈	18
I 法的三段論法とは何か？	18
II 法の解釈とは何か？	20
III 教義学／解釈学としての法律学	22
IV 法解釈の主体・対象・基準	23
V 伝統的な法的思考モデルへの疑問	25
第4章 法的思考の諸相	29
I ハートの司法的裁量論	29
II ドウオーキンにおける難事案	31
III 法的議論の理論	35

IV 日本における法解釈理論 37

V さらなる課題 39

第2部 現代法の基礎理論

第1章	現代憲法の機能と特徴	44
	I 近代憲法の成立とその現代の変容	44
	II 現代人権論の展開	51
	III 違憲審査の活性化と憲法改正問題	53
第2章	現代刑事法の機能と特徴	60
	I 刑事法の近代化と個人の自由	60
	II 古典学派と近代学派	65
	III 刑事法の現代的諸問題	69
第3章	現代民事法の機能と特徴	74
	I はじめに	74
	II 近代民法の理念	75
	III 近代民法の理念の変化	77
	IV 今般の民法改正	86
第4章	現代訴訟法の機能と特徴	89
	I 紛争と紛争処理	89
	II 民事訴訟の紛争解決機能の限界	91
	III 民事訴訟手続の対論過程の機能と特徴	94
	IV 民事訴訟手続をめぐる課題	98
第5章	現代国際法の機能と特徴	101
	I 現代の国際法はどのような法か?	101

II	現代国際法における共存指向性	103
III	現代国際法における協働指向性	105
IV	現代国際法における諸制度	108
V	現代国際法をめぐる諸論点	112

第3部 法と正義

第1章	正義とは何か	118
I	法の目的と正義	118
II	正義の諸観念	120
III	正義論の可能性	127
第2章	リベラリズムと正義	135
I	はじめに	135
II	功利主義	135
III	公正としての正義	139
IV	平等な配慮への権利	142
V	ケイパビリティの平等	144
VI	リバタリアニズム	146
第3章	ポスト・リベラリズムと正義	151
I	はじめに	151
II	哲学と民主主義	152
III	脱・リベラリズム：リベラリズムからは脱すべきなのか？ ——ポスト ——コミュニタリアンたちの視角から	156
IV	ポスト・リベラリズムの正義論のありかをさぐる ——日本国憲法学を舞台に	163
第4章	世代間正義とグローバルな正義	176
I	問題を捉える視点	176

II	世代間正義	178
III	グローバルな正義	185
IV	グローバリズムの課題と展望	199
第5章	生命倫理と法主体の行方	203
I	はじめに	203
II	医療における法主体の確立	204
III	医療における法主体性の限界?	206
IV	医療における法主体の変化	210
V	生命倫理の問題と法の役割	215

第4部 法の支配と公共性

第1章	「法の支配」という考え方	220
I	法哲学の世界とその入り口	220
II	法哲学と「法の支配」	221
第2章	法の支配への期待と失望	223
I	ポスト冷戦世界の普遍理念?	223
II	広がる失望と疑い	224
III	日本の場合	226
IV	期待と幻滅, 無関心をこえて	227
第3章	思想史瞥見	229
I	課題と構想の基本形: 古代~中世	229
II	力の均衡と普遍的価値への繫留: 近代	231
III	発展? 逸脱? 放棄?: 20世紀とその後	232
第4章	「法の支配」をめぐる思想の源流と諸水脈	234
I	原点と分岐点	234

II 「法の資格」をめぐる現代の法理論	239
第5章 法と政治のダイナミズム	252
I 法の支配の欠陥——民主政の観点から	252
II 自治と公德心の軽視	254
III 民主的正統性の欠如	257
IV 理性と合意の支配	260
V 差異の無視と画一化	263
VI 多様性と動態性の縮減	266
VII 法と政治のダイナミズム	269
第6章 法の支配と政治的公共性	270
I 法と政治のディレンマとその避けがたさ	270
II 課題の再設定	271
III 法の支配の政治的諸構想	273
IV 何のための法の支配？ 何のための民主政？	278

◀コラム▶

1 情報公開とプライバシー	59
2 法哲学史における国際法	115
3 ベーシック・インカム論	150
4 モラリズムとパターンリズム	217
5 民主主義と共和主義	286
6 遵法責務論と悪法論	287